

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市沼垂西3丁目
電話 (243) 0141

22 年 6 月 27 日

業者婦人一人ひとりの要求を大切にする運動を強めよう ☆婦人部第44回定期総会☆

6月19日、割烹の宿「湖畔」において婦人部定期総会を開催し、27名が参加しました。

和合婦人部長から「感染症禍の中、亀田・石山支部では支部総会を開いた。より多くの支部で総会が開けるように努力を強めよう。今年は今業者婦人実態調査を集まって記入しよう。母親大会は県が8月、全国は10月に開催されます。代表者を送り出すために、物資販売にご協力を。全婦協総会に向けてジェンダー署名を持ち、部員訪問で拡大しよう。楽しい行事をして民商を盛り上げていこう」と挨拶がありました。

来賓の渡辺県婦協会長は「事業復活支援金など申請に力を尽くしてきた。参議院選挙では、消費税減税・インボイス制度中止、憲法改悪を許さないために頑張ろう。苦しいのは自分だけではない。力を合せて運動しよう」と挨拶。野上会長は「物価高・インフレが問題。参議院選挙では本当に国民の一人一人が希望を持って楽しく豊かに生きていける社会を作ってくれ議員を国会に送ろう」と中小業者を取り巻く経済情勢を語りながら挨拶しました。

総会方針案では「業者婦人一人ひとりの悩み、要求を大切にして運動するのが婦人部運動の原点」として特に若い世代も婦人部活動に関わるような活動を運動の中心に据えることを提起。活動報告では就学援助の学習会やランチ会の報告がありました。

総会後は日本母親大会のDVDを視聴。日本初の女性参政権を実現した地、高知で開催され、県知事・市長も参加した様子を視聴し、全国の女性たちの運動から学ぶことができました。



日程

- ・第12回二役会議 6月28日
- ・第9回常任理事会 7月6日
- ・第75回定期総会 7月17日

支部総会

「赤字でも払わされるなんておかしい」
消費税・インボイスに怒りの声ー亀田支部ー

亀田支部では18日に支部総会をえんではよこしで開催し、1名が参加しました。

最初に松本副会長を講師に消費税の仕組みとインボイス制度について学習。参加者からは「今まで何も言ってこなかった大工がインボイスについて言ってきた。俺たちみたいなおかしい業者は大変だ」「赤字でも払わされるなんて：おかしい」などの怒りの声が上がりました。



その後支部総会を開会。黒井支部長は「商売が大変な中でインボイスが始まってしまったらどうなるのでしょうか？大企業や大資産家を優遇し、中小業者を切り捨てる政治を選挙で変えて行きましょう」と挨拶。班や要求を基礎にした集まりを開いて支部を発展させていくことを確認しました。

支部総会

「やっぱり集まって話すのはいいね」
スツクの交流に喜びの声ー大江山支部ー

大江山支部では18日に、会員の「川しげ」で支部総会を開催。8名の会員が参加しました。

冒頭、小野支部長が「昨年度は久しぶりの入会者がありました。仲間が増えたことを喜び合おう」と挨拶。また渡部副会長と渡辺有子市議からも挨拶がありました。



方針案の提案では、大江山でも業者が増えている地域があることを報告。それをきっかけに「確かに大洲や三百地には業者が増えている」などの議論に発展。残念ながらつながりのある人はいなかったものの、これからつながりを作っていくことを確認し合いました。

総会終了後は懇親会に突入。女性参加者は「やっぱり集まって話すのいいね」と話し、次は業者婦人実態調査を記入する集まりの開催準備を進める予定です。

活援 復支

「民商に入ってよかった」
「Tさん・小売業」

東区でお米を主に販売をしているTさんは、知り合いの紹介で昨年入会しました。入会の際には「前に民商の方が訪ねてきましたよ」と支部の宣伝行動で訪問したことを覚えてくれました。



新型コロナウイルス感染症の影響でお米以外の商品の売上に影響があり、東区の事業復活支援金の相談会に参加しました。家族の応援をもらいながら東区プラザや新商連会館で開催された相談会に何度も通い、時間はかかったものの無事に支援金が振り込まれました。

Tさんは「支援金が振り込まれてほっとしました。これで安心して商売ができる。民商に出会っていなかったら申請できませんでした」と話しています。

現在は入会時から始めた弥生会計ソフトへの入力にも挑戦し頑張っています。

員訪 会訪

会員訪問で商売の様子を聞き取る
婦人部のプレゼントも「木戸支部」

木戸支部は、16・17日と会員訪問を行ない、小山支部長と五十嵐副支部長が参加しました。

小山支部長は紫竹方面、五十嵐副支部長は中山・山木戸方面を訪問。

今回の訪問は会員のくらしや商売の状況を知ることと民商を知り合いの業者に広げる呼び掛け、木戸支部の婦人部が取り組んでいるプレゼントを婦人部員に届けることが目的です。



食料品を扱っている会員は「価格が倍になった食材がある。今のところ自腹を切って苦しい。やむを得ず7月に値上げする」と話し、ロシアのウクライナへの侵攻や円安の影響が直撃している様子が伺えます。他に「遠方にいる親の介護で週末になると通っている」「頑張っても自分の働き分が出ない」などの声が出されました。

婦人部員へのプレゼントは新潟市指定の燃えるごみ用のごみ袋。「実用的でいいわー」とみんな笑顔で受け取ってくれました。支部では21日には遠藤婦人理事と牡丹山地域を中心に訪問する予定です。

活援 復支

「国は中小業者を救済する気があるのか」
「国の対応に怒り」中央・西ブロック相談会

新潟民商では事業復活支援金の事前確認最終日の14日に合わせて、支援金の相談会を開催。会外2名を含む8名の相談者が参加しました。

参加者の多くが事前確認はこれからで「自分が制度の対象になるのか」「申請書類が整っているか」などを確認しながら進行。対象となることと書類が揃っていることが確認されるとやっと本申請です。

本申請では各々が持参したスマートフォンやノートパソコンを活用しながら相談員がアドバイス。慣れない機械に悪戦苦闘しながらも、何とか申請することができました。「今回の申請は本当に難しい。不正が多いから複雑な作業になる」と不正受給に対する怒りの声や「それでも不正はごくわずか。簡潔に迅速に給付することが重要だ」との声も出されました。

また不備ループに悩まされている会員も参加。「要求された書類を添付しても次々と要求される。国は本当に中小業者を救済する気があるのか」と国の姿勢への怒りを話していました。

共済会からのお知らせ 集団健診の日程決まる!

【健康診断】

《 木戸病院健診センター 》

8月27日(土) …定数 10名 10月22日(土) …定数 10名

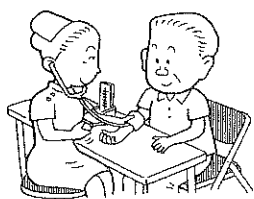
《 新潟県健康管理協会 》

7月23日(土) …定数 10名 9月17日(土) …定数 10名

【特定健診(人間ドック) [建設業元請に提出する健診]

《 新潟県健康管理協会 》

7月 2日(土) …定数 10名 (終了)



※申込書は受付開始の段階で、商工新聞にチラシを折り込みます

1年に1回は健康診断を受けましょう!!